

### Ⅲ 地域を守り、のばす

#### 4 地域振興を支えるインフラの整備

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
125		出雲縁結び空港の機能拡充・利用促進	当初要求 173,846 ↓ 査定 173,846	保安施設の強化及び老朽化した灯火施設の更新や利用促進に向けた事業を実施 ・場周柵など保安施設の更新 ・灯火施設の更新 ・各路線の利用促進に向けた旅行商品造成支援、PR等を実施	地域振興部 [交通対策課] 土木部 [港湾空港課]
126		萩・石見空港の利用促進・機能拡充	当初要求 660,114 ↓ 査定 658,864	東京線2便運航の継続に向け、今後の安定的な需要創出につながるよう、関係先と連携しながら誘客促進対策を実施するほか、老朽化した滑走路等の整備を実施(No.23、40、57一部再掲) 1 誘客促進対策 ①イン・アウト対策 ・乗客数確保に向けた旅行商品造成等の支援、PR等を実施 ・都市間交流やビジネス等利用の促進 ②政策課題への対応 ・石見臨空ファクトリーパークに特化した企業誘致専門員を首都圏に1名配置 ・県外企業を対象とした萩・石見空港を利用した石見臨空ファクトリーパーク等の工業団地の視察ツアーを開催 ・中山間地域の高校をめぐるバスツアーの実施 ・首都圏の事業者を招致し、石見地域の木材製品製造業者とのマッチングを実施 ・首都圏からの旅行者を対象とした田舎ツーリズムのモデル事業を実施 【新規】 2 滑走路等の整備 ①老朽化した滑走路等の舗装改良を実施 ②灯火施設の更新	地域振興部 [交通対策課] [しまね暮らし推進課] 農林水産部 [林業課] 商工労働部 [観光振興課] [企業立地課] 土木部 [港湾空港課] 教育委員会 [教育指導課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
127		隠岐世界ジオパーク空港の機能拡充・利用促進	当初要求 437,836 ↓ 査定 437,836	ターミナルビルの拡張、乗降施設の整備や利用促進に向けた事業を実施 ・待合室及び手荷物受取所の拡張工事 ・バリアフリーに対応した乗降施設（ボーディングブリッジ）の設置 ・各路線の利用促進に向けた旅行商品造成支援、PR等を実施	地域振興部 [交通対策課] 土木部 [港湾空港課]
128		簡易・小規模なほ場整備の促進	当初要求 40,214 ↓ 査定 40,214	水田園芸に取り組む意欲のある個人に対し排水対策などの支援を行うとともに、担い手不在集落において担い手を確保するため、区画整理、暗渠排水等を実施し耕作条件の改善を支援（No.9、114 一部再掲） ①水田園芸推進支援 ・新たに水田園芸に取り組むための排水対策等の実証に係る経費を支援 [助成率] 1/2 ・水田園芸の推進を目的とした基盤整備事業に係る地元負担を実質無償化するための支援 [助成率] 対象事業費の12.5% ②担い手不在集落解消支援 担い手不在集落の解消を目的とした基盤整備事業に係る地元負担を実質無償化するための支援 [助成率] 対象事業費の12.5%	農林水産部 [産地支援課] [農村整備課]
129		市町村の遊休施設を活用した貸オフィス・貸工場整備支援事業	当初要求 10,000 ↓ 査定 10,000	中山間地域等における企業立地を推進するため、所有する遊休施設を貸オフィス・貸工場として整備する市町村を支援（No.59 再掲） [助成率] 10分の1.5 [上限額] 貸オフィス：1,000万円 貸工場：5,000万円	商工労働部 [企業立地課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
130		林内路網整備事業	当初要求 100,000 ↓ 査定 100,000	利用期を迎えた森林の主伐を促進し、製材・合板・燃料用の原木を増産するため、森林作業道及び作業ヤードの整備を支援 ①森林作業道整備 [助成額] 2,000円/m・1,000円/m ②作業ヤード整備 [助成額] 50万円/箇所 ③排水施設整備 [助成額] 2万円/箇所	農林水産部 [森林整備課]
131		山陰道の整備促進 (直轄事業負担金)	当初要求 5,000,000 ↓ 要求見直し 5,123,333 ↓ 査定 5,123,333 [うち補正] 123,333	山陰道の早期開通を目指して整備を促進 (令和2年12月の整備率67%)	土木部 [高速道路推進課]
132		浜田港の機能拡充 (一部特別会計)	当初要求 332,850 ↓ 要求見直し 385,350 ↓ 査定 385,350 [うち補正] 52,500	国際物流拠点としての機能を強化するため、港湾施設の整備を実施 ・国際コンテナの取扱量増加に対応した福井地区上屋(荷捌き倉庫)整備 ・臨港道路「福井・長浜線」の整備	土木部 [港湾空港課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
133		日本海側内航RO RO船定期就航化 推進事業	当初要求 20,975 ↓ 査定 20,975	<p>境港圏域の企業の経営安定及び新たな事業展開を図るため、平成31年4月に開設された敦賀港－博多港航路を活用して航路の定期化を目指し、鳥取県と連携して試験運航等を実施</p> <p>[負担割合] 島根県 1/4、鳥取県 3/4</p> <p>[支援経費]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・境港への途中寄港による試験輸送経費（18回）</li> <li>・試験輸送を利用する荷主企業の経費</li> </ul>	<p>土木部</p> <p>[港湾空港課]</p>